

2023年12月10日

主日礼拝

《礼拝》

礼拝讃美歌⇒467番 (SK 姉)

『御座をも惜しみなく』

聖書⇒イザヤ書 11:1~5、9~10 節 (MM 姉)

『エッサイの株からひとつの芽が萌えいで／その根からひとつの若枝が育ち
その上に主の霊がとどまる。知恵と識別の霊／思慮と勇気の霊／主を知り、畏れ敬う霊。
彼は主を畏れ敬う霊に満たされる。目に見えるところによって裁きを行わず／
耳にするところによって弁護することはない。
弱い人のために正当な裁きを行い／この地の貧しい人を公平に弁護する。
その口の鞭をもって地を打ち／唇の勢いをもって逆らう者を死に至らせる。
正義をその腰の帯とし／真実をその身に帯びる。』

わたしの聖なる山においては／何ものも害を加えず、滅ぼすこともない。
水が海を覆っているように／大地は主を知る知識で満たされる。
その日が来れば／エッサイの根は／すべての民の旗印として立てられ／
国々はそれを求めて集う。そのとどまる場所は栄光に輝く。』

礼拝讃美歌⇒96番

『エッサイの根より』

聖書⇒ヨハネによる福音書 1:16 節 (SK 兄)

『わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。』

(祈)

讃美歌⇒112番 (YA 姉)

『来たり 給え我等の主よ』

《パン裂き》

聖書⇒ルカによる福音書 22:19~20 節 (KH 兄)

『それから、イエスはパンを取り、感謝の祈りを唱えて、それを裂き、使徒たちに与えて言われた。「これは、あなたがたのために与えられるわたしの体である。わたしの記念としてこのように行いなさい。」食事を終えてから、杯も同じようにして言われた。「この杯は、あなたがたのために流される、わたしの血による新しい契約である。』

(式)

礼拝讃美歌⇒152 番 (旧 65 番)

『神の御前には』

《建徳》

聖書⇒イザヤ書 9:5 節 (HK 兄)

『ひとりのみどりごがわたしたちのために生まれた。ひとりの男の子がわたしたちに与えられた。権威が彼の肩にある。その名は、「驚くべき指導者、力ある神／永遠の父、平和の君」と唱えられる。』

聖書⇒ルカによる福音書 24:13~16、27 節

『ちょうどこの日、二人の弟子が、エルサレムから六十スタディオン離れたエマオという村へ向かって歩きながら、この一切の出来事について話し合っていた。話し合い論じ合っていると、イエス御自身が近づいて来て、一緒に歩き始められた。しかし、二人の目は遮られていて、イエスだとは分からなかった。』

そして、モーセとすべての預言者から始めて、聖書全体にわたり、御自分について書かれていることを説明された。』

聖書⇒ハガイ書 1:1~5、7~8 節

『ダレイオス王の第二年六月一日に、主の言葉が預言者ハガイを通して、ユダの総督シェアルティエルの子ゼルバベルと大祭司ヨツァダクの子ヨシュアに臨んだ。「万軍の主はこう言われる。この民は、『まだ、主の神殿を再建する時は来っていない』と言っている。」主の言葉が、預言者ハガイを通して臨んだ。「今、お前たちは、この神殿を／廃虚のままにしておきながら／自分たちは板ではった家に住んでいてよいのか。今、万軍の主は

こう言われる。お前たちは自分の歩む道に心を留めよ。
万軍の主はこう言われる。お前たちは自分の歩む道に心を留めよ。山に登り、木を切り出して、神殿を建てよ。
わたしはそれを喜び、栄光を受けると／主は言われる。』

聖書⇒ルカによる福音書 2:1~7 節 (KH 兄)

『そのころ、皇帝アウグストゥスから全領土の住民に、登録をせよとの勅令が出た。これは、キリニウスがシリア州の総督であったときに行われた最初の住民登録である。人々は皆、登録するためにおのおの自分の町へ旅立った。ヨセフもダビデの家に属し、その血筋であったので、ガリラヤの町ナザレから、ユダヤのベツレヘムというダビデの町へ上って行った。身ごもっていた、いいなずけのマリアと一緒に登録するためである。ところが、彼らがベツレヘムにいるうちに、マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。』

聖書⇒ヨハネによる福音書 1:11~12、16 節

『言は、自分の民のところへ来たが、民は受け入れなかった。しかし、言は、自分を受け入れた人、その名を信じる人々には神の子となる資格を与えた。』

わたしたちは皆、この方の満ちあふれる豊かさの中から、恵みの上に、更に恵みを受けた。』

礼拝讃美歌⇒98 番 (旧 150 番)

『馬槽の中に』

《建徳要旨》